

クリスマス会

クリスマス、職員から利用者様へハンドベル演奏のプレゼント。透き通る温かい音色を、楽しんで頂きました。サンタやトナカイの衣装を着た演奏隊に、利用者様は大きな拍手を下さいました。



笑顔いっぱい
の楽しい
クリスマス
会になりました。

節分の豆まき

2月3日、節分。利用者の皆様と無病息災・ご多幸を願い、豆まきを行いました。利用者様は、鬼に扮した職員に「鬼は、外〜!」と大きな掛け声と共に豆まきを始めます。毎年このことながら、豆を投げる利用者様は、何か溜まっていたモノを吐き出す事のように、鬼真剣、かつ笑顔いっぱいです。鬼退治を心の底から、楽しまれた様子です。



これでまた一年、明るく楽しい日々を過ごせそうですね!

新年を彩る生け花

年末最後のイベント、生け花。新年を気持ち良く迎えるため、利用者様に生けて頂きました。久々に生けるご利用者様自身で自ら率先して草花を手になさる、個々の感性で仕上げます。制作に励んでいる利用者様の笑顔は、お花に負けないくらい素敵に輝いていました。



作品はそれぞれの個性が表れ、同じ材料のお花を使った生け花でも、まったく同じ作品にならないのが不思議です。



あるふあ国立の玄関入り口から通路は、利用者様の生け花により、お正月にふさわしく上品で華やかに彩られました。年々、利用者様の作品展示を見て喜ばれ、感心し、いつまでもご覧になっていました。



お囃子&獅子舞

元旦、坂下囃子連の方々による、お囃子・獅子舞が登場しました。太鼓や笛の音色とピタリ息の合った迫力ある獅子舞の演舞。縁起物の獅子舞に、利用者様も触らせて頂きました。

昨年12月には、旭友会獅子会・千丑獅子会の方々に、お囃子の演奏を披露頂きました。披露頂かされた様折に触れて、様々な形で元の皆様のお力添えを頂いている事に深く感謝しております。



筍という字の由来

筍は春の旬(しゅん)の代名詞。読んで字のごとく竹冠に旬と書いて「たけのこ」と読みます。その由来は、成長が速く、約10日間(一旬)で、竹に成長するところから来たと言われています。普通、植物はてっぺんにある成長点が細胞分裂して大きくなりますが、筍の成長点は節にあり、節で細胞分裂して大きくなります。

竹はイネ科の植物。暖かい気候を好み、南方ほど種類も多く、大型の品種があり、竹の寿命は百年以上で、何十年かに一度花を咲かせるようになります。



医療法人社団 三水会 介護老人保健施設 あるふあ国立
 ©サービス内容 入所・ショートステイ
 通所・訪問リハビリテーション
 ©住所 東京都国立市谷保1006-1
 ©お問い合わせ先 TEL 042-577-8121 FAX 042-577-8130
 ©ホームページ http://www.sansuikai.jp/

編集後記

待ち望んでいた穏やかな春の日差しと暖かさが、感じられるようになってきました。3月後半からは桜の開花が、始まります。利用者様と綺麗な桜を見に行くのが楽しみです。